



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月10日

上場会社名 神島化学工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 4026

URL <https://www.konoshima.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 布川 明

問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長

（氏名） 坂本 仁

TEL 06-6232-5350

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年4月期第1四半期の業績（2026年5月1日～2026年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年4月期第1四半期	7,239	4.3	687	30.0	669	33.0	468	32.9
2026年4月期第1四半期	6,943	△0.6	528	△18.6	503	△20.5	352	△22.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	51.58	51.32
2026年4月期第1四半期	38.90	38.69

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年4月期第1四半期	32,018	14,968	46.6
2026年4月期	30,793	14,710	47.6

（参考）自己資本 2027年4月期第1四半期 14,915百万円 2026年4月期 14,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	23.00	—	26.00	49.00
2027年4月期	—				
2027年4月期（予想）		26.00	—	26.00	52.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の詳細については本日公表の「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年4月期の業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	14,570	5.4	1,170	△3.3	1,100	△4.8	770	△4.1	84.74
通期	30,530	9.0	2,470	△7.8	2,300	△10.3	1,610	△13.0	177.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当期の業績予想の詳細については本日公表の「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年4月期1Q	9,240,000株	2026年4月期	9,240,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年4月期1Q	152,987株	2026年4月期	152,977株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年4月期1Q	9,087,018株	2026年4月期1Q	9,066,002株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化による影響や為替・金利動向の変動などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において2026年4月から6月の累計新設住宅着工戸数は、前年同期が改正建築基準法及び改正建築物省エネ法の施行によって落ち込んでいたことに対し、当期は持家、貸家及び分譲住宅が増加し、全体として前年同期比プラスとなりました。

このような経営環境の中、当社は、『環境対策等の社会課題へ対応することによって持続的成長モデルを構築し、社会貢献と利益拡大を両立』、『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』の中期経営計画の基本方針に基づき、経営に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は7,239百万円と前年同四半期比296百万円(4.3%)の増収となりました。営業利益は687百万円と前年同四半期比158百万円(30.0%)の増益、経常利益は669百万円と同166百万円(33.0%)の増益、四半期純利益は468百万円と同116百万円(32.9%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①建材事業

住宅分野は、高付加価値製品の高級軒天ボードやサイディングの拡販により、増収となりました。

非住宅分野は、都市型高層ビル用の耐火パネルの拡販により、増収となりました。

これらの結果、売上高は3,936百万円と前年同四半期比164百万円(4.4%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、前期以前から取り組んでいた値上げ効果や高付加価値製品である高級軒天ボードの拡販などにより、385百万円と同101百万円(35.6%)の増益となりました。

②化成品事業

マグネシウムは、海外向けの高付加価値製品であるサプリメント用途の酸化マグネシウムや国内向けの難燃水酸化マグネシウムの拡販により、増収となりました。

セラミックスは、蛍光体の受注減により減収となりました。

これらの結果、売上高は3,302百万円と前年同四半期比131百万円(4.1%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、前期以前から取り組んでいた値上げ効果やコスト改善、高付加価値製品であるサプリメント用途の酸化マグネシウムの拡販などにより、557百万円と同89百万円(19.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は32,018百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ1,224百万円増加となりました。主な増加要因は、有形固定資産が867百万円増加したことによるものであります。

負債は17,049百万円と前年度に比べ967百万円増加となりました。主な増加要因は、設備関係電子記録債務が895百万円増加したことによるものであります。

純資産は14,968百万円と前年度に比べ257百万円増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が232百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年4月期の業績につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,204	1,172
受取手形及び売掛金	4,040	4,029
電子記録債権	929	974
商品及び製品	2,556	2,719
仕掛品	997	1,199
原材料及び貯蔵品	1,613	1,745
その他	465	462
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,805	12,303
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,370	5,412
機械及び装置（純額）	7,384	7,393
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	2,165	2,974
その他（純額）	806	813
有形固定資産合計	17,147	18,015
無形固定資産	96	88
投資その他の資産		
投資有価証券	832	869
繰延税金資産	615	459
その他	295	282
投資その他の資産合計	1,743	1,611
固定資産合計	18,988	19,714
資産合計	30,793	32,018

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,791	1,777
電子記録債務	525	669
短期借入金	5,900	6,500
1年内返済予定の長期借入金	1,186	1,094
未払法人税等	574	74
賞与引当金	489	224
製品保証引当金	126	68
設備関係支払手形	3	0
設備関係電子記録債務	264	1,159
その他	1,391	2,038
流動負債合計	12,252	13,608
固定負債		
長期借入金	2,036	1,646
退職給付引当金	1,652	1,679
訴訟損失引当金	26	—
その他	116	116
固定負債合計	3,830	3,441
負債合計	16,082	17,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,095	1,095
利益剰余金	11,988	12,220
自己株式	△181	△181
株主資本合計	14,222	14,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	435	460
評価・換算差額等合計	435	460
新株予約権	53	53
純資産合計	14,710	14,968
負債純資産合計	30,793	32,018

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
売上高	6,943	7,239
売上原価	5,069	5,108
売上総利益	1,873	2,130
販売費及び一般管理費	1,344	1,443
営業利益	528	687
営業外収益		
受取配当金	10	22
その他	6	11
営業外収益合計	17	34
営業外費用		
支払利息	35	40
その他	7	11
営業外費用合計	42	51
経常利益	503	669
特別損失		
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	1	2
税引前四半期純利益	501	667
法人税、住民税及び事業税	46	54
法人税等調整額	102	144
法人税等合計	148	198
四半期純利益	352	468

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,771	3,171	6,943	—	6,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,771	3,171	6,943	—	6,943
セグメント利益	284	468	752	△224	528

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△224百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,936	3,302	7,239	—	7,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,936	3,302	7,239	—	7,239
セグメント利益	385	557	943	△256	687

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△256百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△256百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	493百万円	514百万円